

4. どうして道は曲がるの？ - 川のために曲がることも

(1) 川をさけて曲がる道

もともとの川は、まっすぐに流れません。
 川をわたらない道をつくる時は(あたりまえですが)、
 川をよけてつくりま^{みちすじ}す。そのために道筋を曲げることがよくあります。
 近くに川が見えなくても、大きな川に近づかないように道が曲げられていることもあります。



十勝川(堤防)に行き当たり、カーブする道。



国道236号(帯広市・川西町)のカーブ。地図や空からの写真で見ると、札内川の流れてに沿って曲げられている。



川で行われた大きな工事

川に曲がる
 川に曲がる

川につながる農業

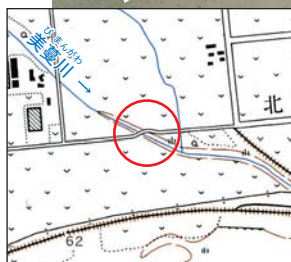
川につながる漁業や工業

(2) 橋のために曲がる道

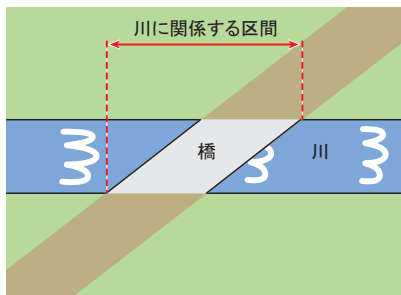
橋をかける時、できるだけ川に直角になるようかければ、短い橋ですみ洪水も流れやすくなります。
 橋が川に対して直角で、道が直角でない場合には、橋の前後で道を曲げる必要があります。
 そのほか、急な斜面を登る時、丘や谷をさけて平らな道にする時などもカーブができます。



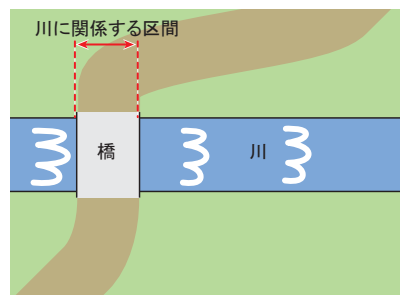
美蔓川をわたる道のカーブ。
 道を点線のようにまっすぐにすると、橋を川に対して斜めにかけないといけ^なない。



道と川が斜めに交わる時



道をまっすぐにすると、橋を川に対して斜めにしなければなら^なない。斜めにかけると橋が長くなり、川に関係する区間も長くなる。



橋を川に対して直角にすると、短い橋になり、川に関係する区間も短くてすむ。かわりに道がカーブする。

付録

このページの地図は国土地理院刊行の1/50,000地形図(帯広)と1/25,000地形図(祥栄)を使用しました